

「おうちで眠っている古写真等の情報提供」(御礼)

5月の広報「みずほ」で「おうちで眠っている古写真等の提供をしていただけませんか」のお知らせをしましたところ、写真や書籍・文書等の情報提供をしていただきました。誠にありがとうございました。

そこで、その一部を下記のとおり 御報告申し上げますとともに、今後も明治・大正・昭和(戦前・戦後)の町並みや生活様式を知ることができる古写真等の収集を継続していきますので、何かありましたら、ぜひご連絡ください。

なお、過去から積み上げられてきた文化や歴史が失われてしまう前に、写真のデジタル化を行い、保存・管理し、瑞穂市の文化的遺産や歴史的な資産を保存していくことは、とても重要なことです。市民の皆様には、今後ともこのことに対してご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1 情報提供いただいた物品

(1) 写真

① 「昭和7年卒業 記念写真帖 鷺田小学校」



奉安殿



写真帖(表紙)



卒業生



恩師の先生



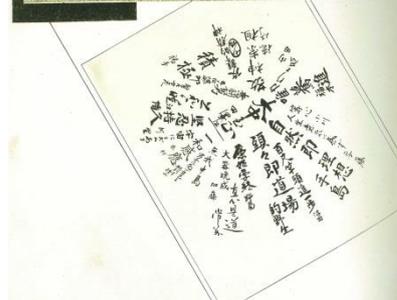
② 「岐阜師範本科第二部卒業記念寫真帳」(昭和13年3月)



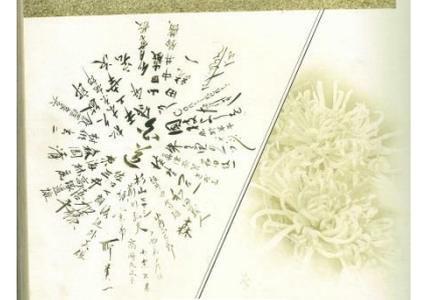
奉安殿と講堂



恩師の先生



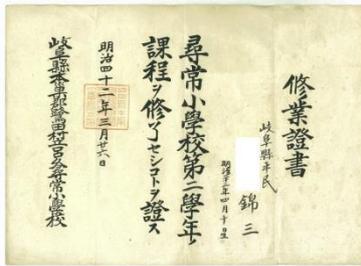
卒業生



(2) 学校関係の物品

ア 卒業証書

① 修業証書(明治42年)



◀ 呂久尋常小学校2年
(現 南小学校)

鷺田尋常小学校 ▶
(現 南小学校)

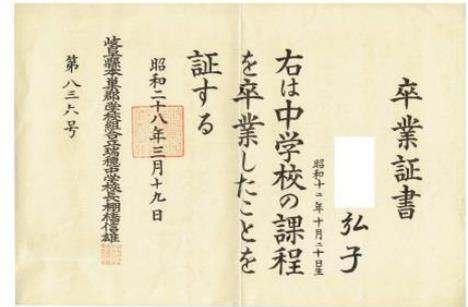
② 卒業証書(昭和14年)



③ 卒業証書(昭和28年)

・右の卒業証書(昭和28年)は、卒業学校名が「学校組合立瑞穂中学校」とあり、瑞穂市の「瑞穂」が使われていました。

※1947年(昭和22年)本巣郡穂積村、本田村、牛牧村の3か村の組合立中学校として、「組合立瑞穂中学校」が開設される。



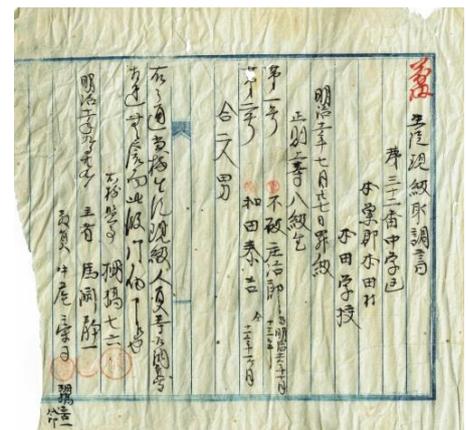
▲ 瑞穂中学校
(現 穂積中学校)

イ 学用品等

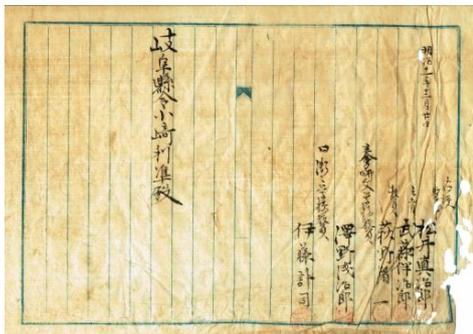
① 文書1 「生徒現級取調書」(明治11年9月29日)

・左の文書1は、第32番中学区本巣郡本田村 本田学校の明治11年7月27日履級 正則上等八級生の2人の男子が在籍していることを示しています。

学制発布後の初等教育が、上下二等の小学に分かれ、さらにそれぞれ8級に分かれて授業が実施されていました。ここでいう、「上等八級」とは、下等一級を修了し、その後、上等八級を学ぶこととなります。



② 文書2 「略則下等第6級生徒卒業御届」(明治11年12月20日)



・左の文書②は、第三十二番中学区内本巣郡美江寺村船木学校(現 中小学校)の明治11年12月20日に下等第6級の生徒全員の氏名等を書き上げて届けたものです。

※ 文部省は学制発布の翌月、「小学教則」を公布し、小学校における教科課程および教授方法の基本方針を明らかにした。小学教則は、学制の規定した初等教育の大綱に基づいて上下二等の小学を各八級に分け、下等八級より上等一級に至る毎級の授業期間を六か月とし、毎週日曜日を除いて一日五時、一週三〇時の課程とし、学制に掲げた教科を各級に配当し、各教科で使用する教科書の基準を示して、教授方法の概要を示した。(「学制百年史」より引用)

③ 文書3 「明治八年岐阜県管下公学校長」(明治8年)

校名	所在地	設立年月日	校長
本郷学校	本郷	明治八年三月一日	...
...

• 左の文書3は、学校の名称や位置、設立年月日、新築か、借用か公用か、教員及び生徒数、学校長名がわかります。ちなみに、本田学校、美江学校の2校は新築で、耕文学学校(十九条村)、専習学校(祖父江村)、増進学校(別府村)、月盛学校(十七条)の4校は寺院本堂、そして、教蒙学校(穂積村)は寺院の庫裏を使用していたことがわかります。

(3) 書籍等

① 「新編 字書」(明治23年)



② 「在郷軍人会鷺田村分会出征記念」(大正7年)



• ②「在郷軍人会鷺田村分会出征記念」は、表題の下に大正7年8月24日動員下令とあり、これは、シベリア出兵の動員令が第三師団(名古屋)に下ったものです。

③ 「愛国百人一首」(昭和17年)



• ③「愛国百人一首」(あいこくひやくにんいっしゅ)は、戦時中の翼賛運動のひとつとして、愛国の精神が表現されたとする名歌百首を選んだもの。皇室への崇敬や国土愛、家族愛の歌が採られています。なお、 収納箱には、情報局認定・日本文学報国会選定・協力毎日新聞社 「愛国百人一首」 後援 陸軍省・海軍省・文部省・大政翼賛会・日本放送協会と表記されています。

④ 裁縫新教科書（表紙）大正 15 年



・④「裁縫新教科書」（共立女子職業学校櫻友会裁縫研究部は、大正 15 年 3 月 24 日文部省検定済教科書で、女子 師範学校・高等女学校用教科書として使用され、メートル法適用で和綴本です。教科書の中身は、左にあるようにカラー印刷がされていました。

⑤「最新和服裁縫と着付」（昭和 9 年）



・⑤「図解でわかる・初歩より奥義 最新和服裁縫と着付」は、昭和 9 年 12 月 6 日発行で定価貳円（2 円）とあります。

昭和 2 年（1927）当時の物価基準（カッコ内は現在の金額）の例として、①公務員給与 75 円（国家 1 種諸手当なしで 181, 200 円） ②米 10kg 3 円 20 銭（4000 円） ③ビール大瓶 1 本 42 銭（350 円） ④コーヒー 1 杯 10 銭（350 円） ⑤映画館入場料 30 銭（1700 円）です。そこで、現在と比較するとものによって誤差がでる場合があります、人件費を参考にすると、当時の 1 円は、現在の約 2400 円程度になり、この本はかなり高価なものと思われます。

3 問い合わせ先

瑞穂市の明治・大正・昭和（戦前・戦後）の町並みや生活様式を知ることができる古写真・書籍等がありましたら、今後も随時、その収集を継続していきますので、ご連絡ください。

継続瑞穂市教育委員会生涯学習課
（瑞穂市役所東南庁舎 2F） ☎ 058 - 327 - 2117